

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

| シラバス番号 | 科目名 | 担当者名 | 実務経験のある教員による授業科目 | 基礎・専門別 | 単位数 | 選択・必修別 | 開講年次・時期 |
|--|------------------------------|---|------------------|--|-----|--------|---------|
| 52241 | 幼児と言葉 Infant and Language | 入口 愛 | | | 1 | 必修 | 1前期 |
| 科目の概要 | | | | | | | |
| 人間にとっての言葉の意義や機能を理解し、乳幼児期における言葉の発達過程や、乳幼児が経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育てるための保育活動内容や支援方法を学ぶ。また、園生活における言葉をめぐる問題についても事例を通して考察し、対応方法を学ぶ。さらに、言葉の発達を促していくための児童文化財についての基礎的な知識を習得する。学びの過程で課題を発見し、習得した知識を活用し、課題解決できる力を身に付ける。これらの内容は主にディプロマ・ポリシー②③④に相当する。これらを身に付けるためにおこなう。 | | | | | | | |
| 学修内容 | | | | 到達目標 | | | |
| ① 人間にとっての言葉の意義や機能を理解する。 ② 乳幼児の言葉の発達の過程や特徴を学ぶ。 ③ 絵本や物語等、乳幼児が言葉に興味関心を持ち、想像する楽しさを味わえるような児童文化財の基本的な知識について学ぶ。 | | | | ① 人間にとっての言葉の意義や機能について概説することができる。(DP①②③④) ② 乳幼児の言葉の発達の過程や特徴を説明することができる。(DP②③) ③ 絵本や物語等、乳幼児が言葉に興味関心を持ち、想像する楽しさを味わえるような児童文化財の基本的な知識について説明することができる。(DP③④⑥) | | | |
| 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 | | 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例 | | | | | |
| 前に踏み出す力 | 主体性 | 自分自身の言語活動をみつめなおし、保育者として子どもたちのモデルとなるような言葉を日常的に使う努力をすることができる。 | | | | | |
| | 働きかけ力 | | | | | | |
| | 実行力 | 課題に対し積極的な自主学修をし、できる限りの努力をもって完成させることができる。 | | | | | |
| 考え抜く力 | 課題発見力 | 乳幼児に対する保育者の理想的な言葉かけを実践できるようになるために、何をしていくべきか、常に省察し、課題を見出していく姿勢を持つことができる。 | | | | | |
| | 計画力 | | | | | | |
| | 創造力 | 乳幼児が楽しめるような言葉を使った遊び等を考案していくことができる。 | | | | | |
| チームで働く力 | 発信力 | 授業中に他者が理解しやすいように、自分の意見を整理しながら述べることができる。 | | | | | |
| | 傾聴力 | 授業中は他者の発言に集中し、自分と異なる意見を尊重することができる。 | | | | | |
| | 柔軟性 | | | | | | |
| | 状況把握力 | | | | | | |
| | 規律性 | 遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 | | | | | |
| | ストレスコントロール力 | | | | | | |
| テキスト及び参考文献 | | | | | | | |
| ①浅井拓久也「指導法もいっしょに学ぶ「言葉」」教育情報出版(2000円)②絵本土専門委員会独立行政法人国立青少年振興機構「認定絵本土養成講座テキスト〈第2版〉」中央法規出版(1800円)・教員作成プリント 参考文献①田中謙 編著『デザインする保育内容指導法「言葉」』教育情報出版(2200円) | | | | | | | |
| 他科目との関連、資格との関連 | | | | | | | |
| 他科目との関連：保育内容(言葉)・乳児保育・児童文化・保育実習Ⅰ・教育実習Ⅰ 資格との関連：幼稚園教諭二種免許・保育士・認定絵本土 | | | | | | | |
| 学修上の助言 | | | | 受講生とのルール | | | |
| ・言葉に対する感覚を豊かにするよう、普段の生活から言葉を意識すること。 ・日頃より絵本や童話、紙芝居などの児童文化財に触れるようにすること。 | | | | ・私語や勝手な言動をする学生は、授業を受ける権利はないとする。 ・レポート・教材制作・授業態度等によって評価する。 | | | |

【評価方法】

| 評価対象 | 評価方法 | 評価の割合 | 到達目標 | 各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント | | |
|--------|-----------------------------|-------|------|---------------------------------|--|--|
| 学修成果 | 学期末試験 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験 | 0 | ① | | | |
| | | | ② | | | |
| | | | ③ | | | |
| | | | | | | |
| | 平常評価 | 小テスト | 0 | ① | | |
| | | | | ② | | |
| | | | | ③ | | |
| | | | | | | |
| | | レポート | 35 | ① | | ✓ |
| | 成果発表（プレゼンテーション・作品制作等） | 55 | ① | | | ことば遊びの絵本の制作（15点）・パネルシアターの制作（30点）・紙芝居（10点） いずれも子どもの言葉の発達を促す／言葉を豊かにする観点をもって制作できているかを評価する。 |
| ② | | | ✓ | | | |
| ③ | | | ✓ | | | |
| 学修行動 | 社会人基礎力（学修態度） | 10 | ① | ✓ | 主体性）自分自身の言語活動をみつめなおし、保育者として子どもたちのモデルとなるような言葉を日常的に使う努力をすることができる。 （実行力）課題に対し積極的な自主学修をし、できる限りの努力をもって完成させることができる。 （課題発見力）乳幼児に対する保育者の理想的な言葉かけを実践できるようになるために何をしていくべきか、常に省察し、課題を見出していく姿勢を持つことができる。 （創造力）乳幼児が楽しめる言葉を使った遊び等を考案していくことができる。 （発信力・傾聴力）授業中に他者が理解しやすいように、自分の意見を整理しながら述べることができ、他者の発言に集中し、自分と異なる意見を尊重することができる。 （規律性）遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。 | |
| | | | ② | ✓ | | |
| | | | ③ | ✓ | | |
| | | | | | | |
| 総合評価割合 | | 100 | | | | |

【到達目標の基準】

| 到達レベルS(秀)及びA(優)の基準 | 到達レベルB(良)及びC(可)の基準 |
|--|---|
| <p>レベルS（秀）は、学修内容のすべてにおいて十分な理解と主体的に課題を発見、解決へと取り組む姿勢がみられ、レポート、教材制作、社会人基礎力の総合評価において、非常に優れた評価を得ることを基準とする。</p> <p>レベルA（優）は、学修内容すべてにおいて十分な理解ができており、レポート、教材制作、社会人基礎力の総合評価が優れた評価であることが基準となる。</p> | <p>レベルB（良）は、学修内容が理解できており、レポート、教材制作、社会人基礎力の総合評価が一定の基準以上を満たしており、かつ到達レベルA（優）までの評価が基準となる。</p> <p>レベルC（可）は、学修内容がおおむね理解できており、レポート、教材制作、社会人基礎力の総合評価が一定の基準を満たしている評価であることが基準となる。</p> |

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|---|--|---|--|---|-------|----------------------------|
| 1 | オリエンテーションを行う。保育の基本と領域「言葉」のねらいと内容について学ぶ。5領域について学び、領域言葉と他領域との関連性について理解する。子どもに語りかける声について学ぶ。 | 講義 ピアワーク | 授業の目的・目標・評価方法について理解できる。5領域とは何かをおおむね理解し、言葉の他領域との関連についておおよそ考えることができる。 | (予習) 授業シラバスを事前に読み、疑問点及び質問事項を考慮しておく。 (復習) 授業の目的・目標・評価方法について確認しておく。 | 45 | 主体性 傾聴力 規律性 |
| 2 | 認定絵本士オリエンテーション 我が国の読書推進活動に関する施策の経緯について理解する。認定絵本士の役割について確認し、絵本専門士認定までの学修計画について理解する。 | 講義 グループワーク | 日本の読書推進活動に関する施策の経緯についておおむね理解することができる。認定絵本士の役割について理解し、認定絵本士認定までの学修イメージをおおよそ持つことができる。 | (予習) 認定絵本士養成講座テキストP1～P12を通読し、疑問点を明らかにする。認定絵本士について、NotebookLMなどのAIを活用し、調べる。 (復習) 絵本認定士オリエンテーションワークシートを完成させ、提出する。 | 45 | 主体性 傾聴力 規律性 |
| 3 | 【絵本総論】絵本とは何か 「絵本」をめぐる行為について学ぶ。「絵本」の定義の捉え方を学ぶ。「絵本」の多面性を学ぶとともに、その可能性や課題を学ぶ。 | 講義 グループワーク | 「絵本」をめぐる行為、「絵本」の定義の捉え方をおおむね理解することができる。 | (予習) 認定絵本士養成講座テキストP16～P21を通読し、疑問点を明らかにする。 (復習) 「絵本とは何か」について、自分の言葉でまとめる。 | 45 | 主体性 傾聴力 規律性 |
| 4 | 【絵本各論（絵本の歴史、絵本賞について）】 世界の絵本の歴史、日本の絵本の歴史について学ぶ。絵本賞や児童文学賞について学ぶ。 | 講義 グループワーク パソコンを使用して、国内外の絵本や古い絵本などを観る。 | 世界や日本の絵本の歴史について理解し、概説することができる。さまざまな絵本賞の特徴と意義について理解することができる。 | (予習) 認定絵本士養成講座テキストP22～P27を通読し、疑問点等を明らかにする。 (復習) 絵本の歴史や絵本賞について、NotebookLMなどのAIを活用しさらに理解を深め、概説できるようにする。課題：外国の絵本の歴史についてまとめる。 | 45 | 主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 |
| 5 | 【絵本各論（視覚表現、言語表現から見た絵本）】 視覚表現に特徴のある絵本の実際例の比較検討を通して、絵本の視覚表現特性について学ぶ。言語表現に特徴のある絵本の実際例の比較検討を通して、言語絵本の言語表現の特性について学ぶ。 | 講義 グループワーク | 人間にとっての言葉の意義について理解し、おおむね説明することができる。絵本の視覚的表現特性について理解することができる。絵本の言語表現特性について理解することができる。 | (予習) 認定絵本士養成講座テキストP28～P33を通読し、疑問点等を明らかにする。 (復習) 視覚表現、言語表現に特徴のある絵本を一冊ずつ選び、絵本の特徴についてNotebookLMなどのAIを活用し、それらを自分なりにまとめ、提出する。 課題：絵本の特徴についてのレポート作成（45分） | 45 | 主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 |
| 6 | 人間にとっての言葉の意義について学ぶ。子どもと絵本の関係について考える。 言葉を獲得する以前の胎生期の特徴について学ぶ。子どもの言葉の発達と絵本の関係について学ぶ。 | 講義 制作（ことば遊び絵本の企画） | 言葉を獲得する以前の胎生期の特徴、言葉の発達と絵本の関係について、おおむね理解することができる。 | (予習) ことば遊びの絵本を見ておく。 (復習) 胎生期における特徴をNotebookLMなどのAIを活用し、それらを自分なりにまとめる。授業プリントを確認し、重要な点をまとめる。 | 45 | 主体性 創造力 傾聴力 |
| 7 | 乳児期前半の言葉の発達と特徴について学ぶ。言葉遊び絵本について学ぶ。 | 講義 制作（ことば遊び絵本の制作） パソコンを使用して、ことば遊びの絵本を調べ、参考とする | 乳児期前半の言葉に関する発達過程と特徴をおおむね理解することができる。言葉遊び絵本にはどのようなものがあるのかをおおむね知るることができる。 | (予習) 自身が制作することば遊び絵本の企画を確認しておく。 (復習) 授業で紹介された言葉遊びの絵本等を実際に手に取って見る、読む。 | 45 | 主体性 創造力 傾聴力 |
| 8 | 乳児期後半の言葉の発達と特徴について学ぶ。絵本の読み聞かせの基本を学ぶ。 | 講義 動画視聴 | 乳児期後半の言葉に関する発達過程と特徴を理解することができる。絵本の読み聞かせの基本をおおむね知るることができる。 | (予習) 乳幼児期後半の子どもの様子をNotebookLMなどのAIを活用し、確認する。 (復習) 授業プリントを確認し、重要な点をまとめる。 | 45 | 主体性 実行力 傾聴力 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|----|---|--|---|--|-------|----------------------------|
| 9 | 幼児期前半の言葉に関する発達過程とその特徴を学ぶ。絵本の読み聞かせを実践する。 | 講義 実践（絵本の読み聞かせ） グループワーク | 幼児期前半の言葉に関する発達過程とその特徴をおおむね理解することができる。 | （予習）絵本の読み聞かせの練習をしておく。 （復習）授業プリントを確認し、重要な点をまとめる。絵本の読み聞かせでの気づきを確認する。 | 45 | 主体性 実行力 傾聴力 |
| 10 | 幼児期後半の言葉に関する発達過程とその特徴を学ぶ。子どもの言葉を育む教材（パネルシアター）を企画する。 | 講義 制作（パネルシアターの企画） パソコンを使用して、パネルシアターを調べ、参考とする | 幼児期後半の言葉に関する発達過程とその特徴をおおむね理解することができる。 | （予習）AI等を活用し、パネルシアターについて調べる。 （復習）制作するパネルシアターの型紙を確認・準備しておく。 | 45 | 主体性 実行力 創造力 傾聴力 |
| 11 | 子どもの言葉を育む教材（パネルシアター）を制作する。 | 演習 制作（パネルシアターの制作・下絵描き） | 丁寧に下絵を描くことができている。 | （予習）制作するパネルシアターを決定しておく。 （復習）時間内に描ききれなかった下絵をPペーパーに写す。 | 45 | 主体性 実行力 創造力 傾聴力 |
| 12 | 子どもの言葉を育む保育実践（パネルシアターの制作） | 演習 制作（パネルシアターの制作・色塗り／縁取り） | 子どもにとって見やすい大きさ、色使いのパネルシアターが制作できている。 | （予習）色塗りの段階まで仕上げしておく。 （復習）子どもにとって見やすいように、完成度を高める。 | 45 | 主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 |
| 13 | 子どもの言葉を育む保育実践（パネルシアターの制作）、パネルシアターの台本の制作 | 演習 制作（台本制作） | 子どもにとって分かりやすく、伝わるパネルシアターの実践となるような活動の展開を考えることができる。 | （予習）パネルシアターの流れをAI等を活用し、確認しておく。 （復習）パネルシアターの活動の台本をNotebookLMで添削したうえで、実際に演じる。 | 45 | 主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 |
| 14 | 子どもの言葉を育む保育実践（パネルシアターの実践） | 演習 実践（発表） | 保育実習で実践することを想定しながら、パネルシアターを実践することができる。 | （予習）パネルシアターを円滑に実践できるように準備をしておく。 （復習）パネルシアターを実践して気づいたことや指摘されたことをふまえて、保育実習で円滑に実践できるようにまとめる。 | 45 | 主体性 実行力 発信力 傾聴力 |
| 15 | 児童文化財（紙芝居）の特徴や演じ方の基本を学ぶ。 | 演習 動画視聴 グループワーク | 紙芝居の特徴や基本的な演じ方を理解している。 | （予習）複数の紙芝居を見て、1つ借りる。 （復習）身近な人の前で紙芝居を演じる。 | 45 | 主体性 傾聴力 |
| | | | | | | |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間 (分) | 能力名 |
|---|------|---------|--------------|-------|-----------|-----|
| | | | | | | |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力